

80401倉庫業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	12	16~17	倉庫にて、出荷パレットが置かれた状態で高床式（高さ1m）の接車バスから足を踏み外し、ホーム下に右足から落下し、右膝の関節2本を骨折した。	53	1	418	10 ～ 29
2	2017	12	14~15	物流センター内のラベル貼付場にあるローラーコンベアの横で、商品入りバケットを送り出す作業中、不揃いとなったバケットを手直しした際に、後から送られてきたバケットとの間に右腕が挟まったり、そのまま引っ張られ捻挫した。	20	6	362	100 ～ 299
3	2017	12	15~16	1期棟2Fから1Fにいたる階段の掃除を行っているときに、後ろ向きで踊り場をモップで拭いていて、後方に段差があることに気付かず足を踏み外し、階段から転げ落ちて手を負傷した。	59	1	413	300 ～ 499
4	2017	12	16~17	販促品梱包作業場で、梱包作業に使用する、緩衝材入りの箱（縦51cm×横51cm×高さ72cm）を手を持ってラインの中に運ぼうとしたところ、ラインとの間の目測を誤り、函の左前とラインが接触し、はずみで後方に転倒した。転倒したときに右手を地面について負傷したものである。	50	2	611	100 ～ 299
5	2017	12	10~11	被災者は、当社倉庫前にて、トラックより降ろした荷物を自分の足元付近に置いていた。その荷物が強風により崩れそうになったので押さえようと屈んだところ、強風にあおられたトラック後部扉が急に開いてきて、扉の金具の部分が被災者の頭部に当たり、ケガをした。	45	1	371	—

6	2017	11	14～ 15	荷物（一斗缶約15kg）を抱え運んでいた際、5号倉庫前の20cm位の段差を踏み外し転倒し打撲した。頸椎間板ヘルニア、頸部捻挫、右肩挫傷と診断された。	35	2	417	10 ～ 29
7	2017	11	8～9	パレットから商品（マットレス）を降ろし押していく際、踏み込むため右足へ力を入れたところ足が滑りふくらはぎに痛みを感じた。	45	19	611	50 ～ 99
8	2017	11	13～ 14	枠パレット上部の商品を取るため、1段目のパレットに足を掛けた際、足を滑らせ背中から転倒した。	59	1	611	10 ～ 29
9	2017	11	16～ 17	事業所内の食品仕分け作業場所の2階において、プラスチック製の箱を手前に引き寄せた時に、下に敷いてあるパレットに躓いてバランスを崩し階段の手すりに左腕をぶつけた際に骨折した。	61	2	379	50 ～ 99
10	2017	11	20～ 21	流通管理センター自動倉庫の出荷場所で、商品の出荷作業を行っていた。自動倉庫内を自動で往来する高速仕分け台車（STV）で不具合が発生した為、社員が設備を停止せずに、自動倉庫内へ向かった。復旧作業中、別のSTVが迫っていることに気付かず衝突した。	40	7	229	100 ～ 299
11	2017	11	9～ 10	部品センター内の受け入れエリアにおいて、15kg程度の製品をパレットからパレットへ移す際に持ち上げた時、腰に痛みを感じ、時間の経過と共に痛みが増してきた。	45	19	611	100 ～ 299
12	2017	11	15～ 16	出荷作業中にフォークリフトの左側車輪前部に乗っかり、商品を取り、パレットに積もうとしたところ足を滑らせ、地面に足をついた時に挫いてしまった。	47	1	222	1～ 9
13	2017	11	10～ 11	機械に材料を補充している時、おてふきを一枚ずつ機械でエア吸引し、自動でレーンに置いているが、おてふきの角が曲がるなどしていると吸引が出来ず、取れないことがあるため、機械吸引部分が上下する間におてふきを取ろうと、咄嗟に手を	48	3	222	300 ～ 499

				出してしまい、レバーに指を挟み負傷した。				
14	2017	11	12～ 13	貨物を検品のため、3mの高所から転落した。	67	1	418	50 ～ 99
15	2017	10	12～ 13	構内、カゴ什器置き場からカゴ台車を移動しようとした時、背後を通りかかった業者が引いていたハンドリフトの爪に足を引っ掛け、後向きに転倒した。その際左手をコンクリートの床に叩き付け、手首を骨折した。	66	2	362	50 ～ 99
16	2017	10	9～ 10	資材や空オリコンを置くための台車を準備していた際に梱包台の下に置いていた板台車に気づかず、右足を台車の上に載せてしまいバランスを崩してしまった。その際に左足を捻り転倒して足首を負傷した。	47	19	362	300 ～ 499
17	2017	10	1～2	冷凍自動倉庫内でラック上の商品の位置を手直しし、足場を移動しようとした際、足を滑らせ約50cmの高さから落下し、左下腿前面を架台にぶつけ挫創した。	25	1	391	50 ～ 99
18	2017	10	16～ 17	工場新館1階の庫内で荷物にシールを貼る作業中、パレットの鉄枠によじ登ったところ、足を踏み外して落下し、左足踵を負傷した。	21	1	418	30 ～ 49
19	2017	10	9～ 10	補充作業中に、腰部保護ベルトを付けていないことに気づき、ロッカー室へ取りに戻る途中の廊下で、急いで小走りになっていたために足がもつれて転倒し、右膝を床で強打する。	64	2	416	100 ～ 299
20	2017	10	6～7	2階で業務を終え退勤後帰宅に3階から1階に下りる途中1階の階段で足を踏み外し右足首を捻る。	45	1	413	100 ～ 299
21	2017	10	10～ 11	2段式ハンガーラックのロケーション表示の取り付け作業をする際、脚立がなかったためキャスター付きの椅子を代わりに使用し、バランスを崩して左半身から倒れ負傷。	59	1	371	500 ～ 999

22	2017	9	17～ 18	荷姿転換場で自動車部品のビニールを剥ぐ作業をしており、作業完了後の詰め替えた箱を腰をかがめた位置から頭部程度の位置まで持ち上げた際に、痛みを感じた。	44	19	611	50 ～ 99
23	2017	9	8～9	自社作業場で、鉄のアングルを天井クレーンで運搬する作業をしている時に、鉄のアングルを降ろして玉掛していたワイヤー2本のうち1本をフックから外し、もう1本をフックから外す途中にフックが上げられてしまい、ワイヤーとフックに右手中指が挟まれて負傷した。	47	7	211	10 ～ 29
24	2017	9	9～ 10	センター内の荷物受入エリアにおいて、ガス式フォークリフトのガスボンベが空になった為、新しいボンベと交換する作業において、ボンベをガス式フォークリフトに搭載する際に、腰に痛みを感じ、歩行時にも痛みが継続して、普通に歩行することが困難となった。	44	19	612	100 ～ 299
25	2017	9	13～ 14	ホームセンター商品を扱う物流倉庫内で、ネスに入った商品を移動しようとした際、原則ネスを動かす場合は、2段までと規定があるが、3段重ねたまま移動してしまったため、バランスが悪く、一番上のネスが落ちてきてしまい、右首から右肩にかけて負傷した。	62	4	222	50 ～ 99
26	2017	9	10～ 11	サイロ下部ホッパー内を2名で上部（指揮者）と下部（被災者）に分かれ、清掃作業を行っていた。被災者はサイロ下部ホッパー内で、燻蒸用配管を背に両足をホッパー内壁に置き、バランスを保ちながら付着している飼料のかき出し清掃作業を行っていた。作業指揮者は被災者上部のカバーの上に足場板を掛け同様の清掃作業を行っていた。飼料崩落があり、被災者は何らかの原因でホッパー下部へ落下した。指揮者が下に降りて確認した所、被災者はすり鉢状のホッパー下部に下半身が滑落していた、そのためホッパー下部を塞ぐ形となり、飼料が下に流れない状態となっていた為、飼料が積もり埋もれた。	24	1	391	10 ～ 29

27	2017	9	10～ 11	定型外区域で、積込作業をしているときに、農業用マルチシート（1.2mの束、重さ14kg）を、カゴ車の奥に積み込もうとして、両手に抱えて持ち上げたところ、背中に痛みが生じて屈む姿勢ができなくなった。	36	19	611	50 ～ 99
28	2017	8	13～ 14	カーゴをトラックに積載する際に、カーゴタイヤが歪んでいることに気づき、ナットを締める作業を実施した。その際、体を捻じった体勢で作業を行ったので、作業後に違和感を感じるようになり、体調が改善されないため、病院にて診察を受けたものである。	43	19	364	10 ～ 29
29	2017	8	18～ 19	弊社社屋内倉庫にて、ピッカーを使用してピッキング作業中、ネステナーの3段目の商品を取ろうとした際に、当該ネステナーの前に別のピッカーが止めてあったので取ることができなかった。そのまま移動して商品を取ろうとし、安全帯を外してピッカーからネステナーに移ろうとした際に、足を踏み外してバランスを崩し、床面（H2.8m）に落下した。その際に左大腿部・頸椎・右手親指を負傷した。	64	1	418	50 ～ 99
30	2017	8	16～ 17	作業終了後、現場詰所から自転車で事務所に戻る途中、自転車のチェーンが外れ、外れたチェーンが自転車のタイヤに食い込んだためロック状態となり、つんのめる形で右顔面部から転倒した。	20	17	362	10 ～ 29
31	2017	8	23～ 24	駅まで会社の車を運転し、派遣スタッフの帰りの送迎をしていた際に、信号機に衝突し受傷した（自損事故）。	34	17	231	50 ～ 99
32	2017	8	23～ 24	駅まで会社の車を運転し、派遣スタッフの帰りの送迎をしていた際に、信号機に衝突し受傷した（自損事故）。	25	17	231	50 ～ 99
33	2017	8	23～	駅までの帰りの送迎車に乗車していた際に、その車が信号機に	25	17	231	50 ～

			24	衝突し、受傷した（自損事故）。				99
34	2017	8	21～ 22	センター1階において、消灯された区画の電気を点けようと、エレベーター前より電源ボックスへ移動する際、移動途中に置いていたプラスチックパレットに足を引っ掛け、顔面を強打し、下唇貫通創の怪我を負った。	52	2	417	50 ～ 99
35	2017	8	16～ 17	当社倉庫内において、リーチリフトにて製品パレットを置いたあと、次の作業のため移動しているとき、通路が狭かったため、誤って鉄の柱に左足踵辺りが当たってしまい、打撲した。その後2～3日経ってから負傷部辺りが膿んできたため、病院の指示により入院となった。	67	3	222	10 ～ 29
36	2017	8	17～ 18	出荷配送の準備のため、20ケースのワインが積まれたカゴ台車をプラットホームの停止線まで移動させ、被災者がホーム下に降りて地上からホーム上のカゴ台車を、更にホーム際ぎりぎりまで移動させていたところ、カゴ台車の車輪が脱輪して落下し、負傷した。	49	4	362	100 ～ 299
37	2017	7	15～16	4.2?の角タンクの側面に20Dを取り付ける作業中、踏み台が近くに無かったので、タンクの2段目のへりに足を乗せ、片腕を19φの丸鋼タラップに掛けながら、ボルトを取り付けていた。その際に足を滑らせてしまい、掛けていた腕にテコの原理で力がかかり受傷した。	25	7	418	1～ 9
38	2017	7	11～12	派遣先事業所構内で、入荷した荷物を積んだカゴ台車を1階から4階へ搬送する作業をしていた。荷物用エレベーターへカゴ台車4台を搬入した時に、左手前のカゴ台車が斜めに向いていたので、位置を修正しようとして、右足を前に・左足を後ろにしてカゴ台車を手前に引いたところ、右足甲をカゴ台車の車輪で轢いてしまい、右足第3趾を負傷した。	33	7	362	100 ～ 299
				上記の物流センター内で、フォークリフト荷捌きを行っている				

39	2017	7	11~12	時、他の作業者のフォークリフトが通るため、フォークリフトを停車し、他のフォークリフトが通過するのを待っていた所他のフォークリフトの後部が自身のフォークリフトの後部に接触しその際の衝撃により負傷。	60	6	222	10 ~ 29
40	2017	7	12~13	休憩から現場に戻る際に納品ドライバーの荷物を避ける際に足がもつれて転び、怪我をしてしまった。（左膝下切り傷）	53	2	611	50 ~ 99
41	2017	7	11~12	冷凍倉庫内の出入り口付近にて貨物の積み付け作業中に床面に付着していた氷に足を滑らせて右足を捻った。	18	2	417	10 ~ 29
42	2017	7	18~19	製品倉庫内でフォークリフトを使用して製品の積み込み運搬作業中、保管ラック上段への積み込み後、フォークリフトのマストを下げ忘れ、上死点まで上昇した状態でバック走行をしていた時、倉庫天井の鴨居にマストが衝突。その衝撃でフォークリフトが前方に倒れ、その反動でオペレーターがバック走行していた方向に投げ出され、倉庫床面に背中と左肘を強打した。	55	1	222	1~ 9
43	2017	7	16~17	物流センター倉庫内にてパレット上の商品のラップ巻きをしていたところフォークリフトによる返品商品搬出のためバックしてきたフォークリフトに左足をひかれてしまった。	58	7	222	100 ~ 299
44	2017	7	10~11	弊社冷蔵庫（第一冷蔵）の中で、フォークリフトを運転して製品の入庫作業を行っていたところ、リフトにてパレットを持ち上げた時、リフトのチェーンローラーからゴムホースが外れた。ゴムホースをローラーに取り付け、直そうとした時にゴムホースと一緒に右手（親指を除く4本指）がローラーに挟まり、負傷した。	19	7	222	10 ~ 29
45	2017	6	15~ 16	会社内の加工作業場で、箔押し機（ホットスタンプ）にて箔押し作業中、手を滑らせ、左手人差し指と親指を機械に挟まれ骨折し、火傷を負った。	36	7	169	10 ~ 29

46	2017	6	8～9	派遣先の2Fの作業場で、作業に使う台車の移動中、1台ずつ運ぶところを3台同時に運ぼうとし、引っ張った際に台車が倒れて左足首の上に落下し、骨にひびが入ってしまった。（全治1ヶ月、要松葉杖）	27	4	362	30 ～ 49
47	2017	6	9～10	弊社2階倉庫作業場において、被災者は出荷商品の積み込みで使用する折り畳みカゴ台車（組み立て時：縦76cm×横125cm×高さ200cm）を出荷レーンの最終着地点に設置していた。カゴ台車をL字型に畳んだ状態で、3台まとめて移動していたところ、台車のバランスが崩れ、3台とも横転した。その際、倒れてきた台車の上部に左足首を挟まれた。	27	5	362	50 ～ 99
48	2017	6	19～20	倉庫内で商品の棚戻し作業中、高さ2m、横幅1m、奥行30cmの商品ラックを2人1組で移動させていた。本人は後ろ向きに左後方を確認しながら移動させていたが、右側にあった柱に気付かず、右手小指の付け根を商品ラックと柱で挟んでしまった。	33	7	362	50 ～ 99
49	2017	6	0～1	構内作業場にて、ゴミ置場から戻る途中のスロープで、別のスタッフが押していた台車が後ろからぶつかり、左足のかかと付近を負傷した。	47	6	362	30 ～ 49
50	2017	6	0～1	自動倉庫出庫口において、出庫されてきた冷凍貨物をピッキングする際に、冷凍貨物を置く木製のパレットにフォークの爪が引っ掛かり、手動により外そうとしたところ、パレットとパレットの間に右手中指を挟み骨折した。	46	7	379	10 ～ 29
51	2017	6	15～16	4Fでフォークリフト荷役作業中、降車する時に足を捻ってしまい、バランスを崩し、咄嗟に左手を出して手の平で着地した。その際、左足首捻挫、右手首打撲をした。	47	1	222	500 ～ 999
52	2017	6	10～11	梱包作業場にて、製品が入った段ボールを作業域を近くする為に移動させようとしたところ、2箱載っていた段ボールを1箱と勘違いし、段ボールの上部を押したことにより、上段の段ボールが不安定となり、バランスを崩して左手を段ボールについた	72	19	611	100 ～ 299

				際、左手を捻りそのまま転倒した。				
53	2017	6	13～ 14	リーチ式フォークリフトにて作業中、バック走行の際、柱に接触しそうになり、左足をペダルより離し、柱側にのぼした際、柱とフォークリフトに挟んだものである。	18	7	222	100 ～ 299
54	2017	6	17～ 18	同僚乗務員の積み込みの手伝いをしている最中に、被災乗務員が、荷締めの確認で隣に接車していたA号車に移り、荷締めの状態を確認して再びB号車に戻ろうとした際に、誤って右足を踏み外してしまい、B号車のアオりに右肋骨を強打してしまった。1日様子を見たが痛みは改善されず、翌日、肋骨にヒビが入っており、全治14日間と診断された。	33	3	221	50 ～ 99
55	2017	6	12～ 13	冷凍庫内奥の通路にて、ピッキング作業中、うつ伏せに転倒した。（転倒理由不明）社員が異音に気付き発見した。意識がない状態だったが、すぐに取り戻し台車にて庫外へ搬送した。その後、当社担当が到着し、自分の車で休んでいた本人と話す。目立った外傷や痛みなどが無いとの事で自宅に送り届ける。翌日自宅に伺うと、本人は自室にて意識不明の状態であった。119番通報後、救急車で病院へ搬送した。意識が戻らないまま、後日容体が急変し死亡に至る。	57	2	416	30 ～ 49
56	2017	5	11～ 12	フォークリフトでパレットに積載した貨物を後方から荷台に積み込み時、前方にいた作業員に気が付かず、前進したためパレットに足首を押し挟まれ損傷した。	57	7	379	100 ～ 299
57	2017	5	11～ 12	当社の仮設機械センターにおいて、ブラケット足場台と単台約4.2kgを2個重ねて、所定の場所に連続して置く作業中、誤って手首を捻り、両手を捻挫した。	49	19	521	10 ～ 29
58	2017	5	13～ 14	派遣先構内作業場において、派遣社員の作業員が荷をトラック（コンテナ）に積み込んだ後、その荷台（1m位の高さ）から飛び下りた際にバランスを崩してアスファルトの地面に落下し	34	1	221	1～ 9

				た。その際に右足を地面に打ちつけて靭帯を損傷し、左手を捻挫（軽傷）した。				
59	2017	5	14～ 15	日用品、雑貨を店舗ごとに仕分ける場所で、殺虫スプレーの仕分けを行っていた。殺虫スプレーの入ったダンボールを開梱する際、ダンボールの糊付けが強く、無理矢理手で開け、右手首を痛めた。	21	19	921	100 ～ 299
60	2017	5	21～ 22	施設内にて、1階24番シュートで飲料の積み込みをしていた時、右腕に引きつるような痛みを感じ受傷した。	32	19	611	300 ～ 499
61	2017	5	12～ 13	荷物をパレットへ積み替え作業をしていた時にフォークリフトに足を挟まれた。	62	7	222	50 ～ 99
62	2017	5	14～ 15	倉庫内にて製品の出荷作業中、リーチリフトの方向を変えようと旋回させた際、ステップから出ていた右足が後方にあった固定棚と接触し打撲を負った。	20	3	222	100 ～ 299
63	2017	5	11～ 12	建材・足場シート・サイディング役物・仕上げ材・お引渡し品のいずれかのピッキング作業を行っていた際に負傷したものとされる。（詳しい原因は不明）当日に痛みを感じたが、作業を継続し定時まで作業を行い帰宅した後、変形性腰椎症、腰部末梢神経障害と診断される。その後もしばらく痛みはあったが仕事を続けていたところ、痛みが増して休業となった。	61	19	611	1～ 9
64	2017	4	20～ 21	倉庫内で商品搜索のための移動中に、出荷用パレットに躓き転倒した。発生時に作業帳票を見ながら移動していた事で、歩行導線から外れた。足元の確認不足から、作業箇所を設置していたパレットに気付けなかった。	51	2	417	50 ～ 99
65	2017	4	11～ 12	自動倉庫の投入口で作業中、フォークリフトで搬送されてきたパレットが、レール上のパレットを前方へ押した為、レール内に左足を入れて作業をしていた被災者の足にパレットが接触し	34	7	379	100 ～

				て負傷した。				299
66	2017	4	15～ 16	1階荷捌き場にて、フォークリフトでバック走行しながら、空のサポート付パレットを置こうとした際、被災者の後ろ側を通り、右斜め後方でいったん停止し、右に旋回しながら前進しようとした際、旋回をするだけの十分な距離を取らず接触しそうになったので慌ててブレーキを踏もうとしたら、誤ってアクセルを踏み、パレットが被災者の両ふくらはぎに当たった。	42	6	222	1～ 9
67	2017	4	18～ 19	退勤後、センターのプラットフォーム（トラックが荷物の積み下ろしをおこなう場所）から踏み台へと降りようとして、プラットフォームで足を滑らせて地面へと転落し、左手首を負傷する。	48	2	416	100 ～ 299
68	2017	4	16～ 17	倉庫内で1個5kg～7kgの家電製品をダンボールに投入していた際、ダンボール投入の際に手首をひねるような動きもあり、休憩もはさみながらではあったが、同様の作業が続き、手首に炎症がみられた。	37	19	611	50 ～ 99
69	2017	4	20～ 21	派遣先の野菜更生生庫内で品出し作業中、他就業者の操作するハンドフォークと床置きパレット間に左足を挟まれ、歩行困難となった。	51	7	362	100 ～ 299
70	2017	4	13～ 14	バッテリー式のパレットフォーク充電場所にて、作業終了後に本機を充電するため、パレットフォークから本人が降車した状態でバックにて本機を移動したとき、ハンドル操作を誤り、右足に本機が接触した。	37	6	222	100 ～ 299
71	2017	3	21～22	トラックバースに積まれていた荷物を数えることに集中し、足元を確認しておらず、荷物の方向を向いたまま後退した時に、トラックベースから足を踏み外し約1.5メートル下に転落し、トラックバースの角に左脇腹があたり骨折した。	57	1	418	100 ～ 299
				重量ラック3段目の商品の在庫調査中、奥に積まれている商品把				100

72	2017	3	12~13	握で安全ベルトを一時的に外して作業した。数量をカウントし戻る際、右足をパレットについて左足を出した時、踏み外してしまい、そのまま左足からくずれの様に下に落下した。	57	1	222	~ 299
73	2017	3	17~18	商品在庫棚重量ラック3段目（高さ約1m70cm）のパレットに保管された商品を確認するため、脚立（高さ60cm）に乗り確認するが奥の商品が見つらく。とっさに3段目パレットによじ登り確認作業をした。確認後、重量ラック3段目から降りるためパレットに手をかけながら脚立に足をかけた際に負傷した。	51	1	371	~ 299
74	2017	3	9~10	トラックの荷台より荷物をおろそうとしたところ、背中に激痛が発生した。	22	19	611	10 ~ 29
75	2017	3	11~12	被災者は、作業エリアに移動する際に後追してきた作業中のリーチ式フォークリフトを避けようと、作業が終わるまで待っていた。作業中のフォークリフトが被災者に気づき作業を止め車両を停止させたが、被災者は作業の邪魔になると思い、後方を確認せずに一步後ろへ下がってしまった。そのとき後方で作業していた別のリーチ式フォークリフトの車輪に左足甲を踏まれた。	55	7	222	100 ~ 299
76	2017	3	11~12	3階の事務所で軽い封筒を持って立ち上がり、移動していたところ、右側に置かれていたダンボールに躓き転倒し、右膝を強打した。	60	2	417	100 ~ 299
77	2017	3	11~12	当社倉庫内において、搬送用ベルトコンベアで搬送作業中、コンベアベルトとフレームの間に挟まっていた異物の除去を行う際、誤って機械の電源を切らず行ったため、コンベアに手を巻き込まれ、右腕を骨折した。	48	7	224	1~ 9
				2人で冷蔵庫内で荷役作業を終えた後、庫外に出ようと1人が先に荷捌き場に出る扉を開けた際に、それに続いて庫内から出ようと走って出入り口に近付いたところで、足を滑らせて転倒し				

78	2017	2	15~16	腰部を強打した。転倒後、自立して庫外に出たが、庫外・荷捌き場で椅子に腰掛けたところで痛みと痺れから動けなくなった為、救急搬送を要請し、搬送された。救急病院で、痛み止め処置後、帰宅が許された。後日、再受診し、腰椎横突起2ヶ所骨折、1ヵ月間安静と診断された。	32	2	416	10 ~ 29
79	2017	2	5~6	事務所内倉庫において作業中に後方より乗務員が商品台車搬入の際に被災者背面部分に衝突した。	34	6	362	1~ 9
80	2017	2	12~13	帳票類を作業台にまとめスチールラックに置いてある仕分け用のかごに収める作業を繰り返し行っていた。その際にスチールラックへ帳票類を置き、作業台に振り返った時に右手小指を作業台のエッジに勢いよく接触してしまった。痛みが強かったので就業終了後に病院に行き右手小指第三関節剥離骨折と診断された。	50	3	419	100 ~ 299
81	2017	2	9~10	ミッション置場に於いて、出荷準備中の製品を台車に乗せようとした際、型枠となる治具が錆びていた為、台車と製品が貼りついていたので、力を込めて引っ張ったところ、腰部を痛め負傷した。	33	19	611	10 ~ 29
82	2017	1	11~ 12	出張作業中に荷物が落下してきて、左肩と肘の損傷をした。	19	4	611	50 ~ 99
83	2017	1	11~ 12	得意先でプレス機械の作業をしていた所、プレス機械に右手の小指、薬指、中指の3本を挟まれ負傷した。状況を確認したところ、通常は事故防止の為、安全キーがつけられているが、当プレス機械には付けられていなかった。	53	7	154	10 ~ 29
84	2017	1	14~	倉庫2Fからの階段部分において、2階置場に置いていた6tヒッパラ、約25kgを階段を使って降ろそうとした際、階段の一番上部で足をすべらせ、ヒッパラとともに落下してしまった。転落時	61	1	413	—

			15	に打撲と擦り傷を負うとともに、最下段で、正面にある壁にぶつかりとまるが、ともに落ちてきたヒッパラが重なるような状態になったため、膝と足指を負傷したと思われる。				
85	2017	1	0～1	原材料の搬入投入荷役作業中、作業環境を維持するための集塵機に異常を感知し、調整のため集塵機操作盤において手動で入切を行い自動運転に切り替えたところ、タンク下部の排出口付近で異音がしたため、異物が下部に落ちたと思い、点検口を開け内部を確認した。すると異物が見えていたので右手で除去したところ、上部から更に異物の塊が落ちてきて、腕が30cm程押し下げられた。その際、タンク下部に設置されている回転物に右手示指と中指の先端が触れ、挫創した。	51	6	519	10 ～ 29
86	2017	1	14～ 15	事業所敷地内にて凍結場所で、納品業者のトラックがスリップにより立つ際、車両後輪下にコンパネを敷き脱出作業中に、当社従業員が、車両後方で車両を押し手伝っていた時に、コンパネが従業員に向かって飛んできて太ももにあたった。	64	4	379	50 ～ 99
87	2017	1	15～ 16	請負先において、第2ローリー場タンクローリー受け入れ作業終了後、該当バルブの閉止作業中に強風にあおられ転倒し、配管の間に右足を挟み骨折した。	52	2	719	10 ～ 29
88	2017	1	9～ 10	ハンドフォークを使用して空パレットを、E・Vに積み込んだ後、残りのパレットを取りに行こうとした。ハンドフォークを後ろ手に持って歩行中に、自分自身の足がもつれ、その拍子に転倒し、左膝部を地面に強打した。周りに障害物もなく、通路幅も確保されていた為、本人の注意不足が原因と思われる。	51	2	921	10 ～ 29
89	2017	1	9～ 10	事務所内で業務中、書類ケースに日焼け防止の紙を貼るため、フォークリフトで揚げた高さ140cmのパレット上で、上部をテープ止めし次にしゃがんで下部を止め、立ち上がろうとしたときにバランスを崩して転落し、肩・頭・背中の順に落ち、頭部を打撲負傷した。	79	1	222	30 ～ 49

97	2016	12	11～ 12	倉庫2階で入庫した商品を整理、積み上げを手作業で行っている時に、突然、背中の右側が痛くなり動けなくなった。	31	19	611	～ 99
98	2016	12	14～ 15	作業場にて、商品重量計のステンレス製メモリ表示部のへりに手が当たり、右手甲側の人差し指を切傷した。	63	3	391	～ 299
99	2016	12	13～ 14	倉庫にて商品の確認作業を終えて、次の倉庫へ向かっていたところ、後方よりバック走行で近づいてきたフォークリフトの右側後輪と右足が接触し、負傷した。	33	6	222	～ 29
100	2016	12	18～ 19	帰宅のため、職場の入場ゲートを出てすぐの階段を下りる際、階段を踏み外し転倒。その際、右手で体を支えようとしたところ、支えきれず右手首を負傷した。	54	1	413	～ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。